

## (株)後楽園スタジアム

1984年夏、株式会社後楽園スタジアムの開発室担当者達は、創立50周年の記念事業として、現在の競技場(旧競輪場跡地)野球場を取り壊して、現球場の横(主に競技場跡地)に、屋根付き(エアードーム)球場を建設することで最終検討を行っていた。

### 会社の沿革

10

後楽園スタジアムは、1936年に、小林一三、正力松太郎および田辺宗英の三人が発起人となって、設立された。翌1937年には、後楽園球場を完成した。これによって、それより先の1934年に結成されていた巨人軍の本拠地となった。

1949年には、隣接地(13,220坪)の敷地に競輪場を開場した。1955年には、機械化された新方式による都市型遊園地を開場した。1965年には、熱海の海上埋立地に  
15  
「熱海後楽園ホテル」を開設した。1971年、不動産事業の一環として、ショッピングビル「アドホック後楽園新宿」を完成した。同じ1971年には、このビル内に、輸入雑貨の店「ショップイン」第1号店をオープンした。

1972年には、美濃部東京都知事がギャンブル廃止を打ち出したことによって、安定収益源であった後楽園競輪場を取り壊した。そして、1973年には、ボウリング場、アイススケート場、レストラン、ゲームコーナー、場外馬券場からなる総合レジャービル  
20  
「黄色いビル」を50億円をかけて建設した。このうち、半分のスペースは中央競馬会に賃貸した。また、競輪場跡地には、400mのジャンボ・プールも建設した。なお、この時、東京都からは、「競輪転業資金」として97億円(返済期限1985年)を無利子で借り入れていた。  
25

1975年には、DIY事業にも参入して、「ホームセンター相模原」をオープンした。1976年には、野球場に、日本で初めての人工芝生を、350百万円(工事費は、3.3㎡当たり110,000円)の工事費をかけて、敷設した。同じ1976年、流通部門の量販店の第1号店として「ショッピングセンター調布店」をオープンした。1979年には、健康産業にも進出することにして、「ヘルスクラブ」「スイミングスクール」をオープンした。1978  
30  
年には、78億円を投資して、賃貸ビルを建設し、このビル全体を、中央競馬会に場外馬券場と中央コンピューター・センターとして貸与した。1983年には、スイミングクラブ

---

このケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクール教授鈴木貞彦が、クラス討議のために、公表資料にもとづいて作成したものである。このケースは、経営の巧拙を例示するためのものではない。(1988年2月改訂)